

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500642
事業所名	アメニティホーム本郷

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホームで開催された認知症サポーター養成講座の際は地域住民に呼び掛け参加が得られている。また、定期的に落語、マジック、オカリナのボランティアの受け入れも行き、利用者の楽しみの一つとなっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は利用者家族、民生委員、いきいき支援センター職員等の参加で二カ月に一度実施し、ホームの活動や利用状況等報告している。今回は会議の際に認知症サポーター養成講座を開催し、参加者に認知症を理解してもらえるように努めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	日頃からホームでの活動報告や相談、指導等で良好な関係作りを行い、連携が図れるように努めている。市主催の研修にも、職員が参加しており、内容はカンファレンスで報告し共有している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族来訪時やホーム行事の夏祭り、クリスマス会の機会を活用し、意見、要望を出来るだけ汲み取れるようにコミュニケーションを大切にしている。家族には、電話連絡の他に職員が毎月利用者の様子、写真等を書面で知らせ、家族から信頼と安心を得ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	×	○	○				